



衣笠地域運営協議会 かわらばん

令和7年3月28日

第22号

発行 衣笠地域運営協議会
事務局 衣笠行政センター
046-853-1611

★★ 主な活動報告 ★★

【地域防災力の向上に関する事業～防災講演会の開催】

衣笠地域運営協議会では、令和6年1月1日に能登半島地震が発生したことや南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられたことを受け、令和7年2月18日（火）に防災講演会を開催しました。

講師は横須賀市危機管理課の中原諒さんと衣笠地区の防災士の蛭田孝之さんにお越し、
「1 災害が発生したらどうする？」と題し、災害種別ごとの避難地や避難所に関する説明と、
「2 能登半島地震被災地支援活動報告について」わかりやすく説明していただきました。

今回の講演会を契機として、なお一層、衣笠地域の防災力向上につなげていきたいと考えています。



危機管理課の中原諒さん



177名の方に参加していただきました。



防災士の蛭田孝之さん

【地域観光資源PR事業～「三浦大介の歌」を歌おう】

令和6年10月28日、大明寺合唱団ロータス（代表：大明寺住職 楠山泰道様）の皆様によるイベント『「三浦大介の歌」を歌おう』を開催しました。

三浦一族の末裔の岩間満美子様のご挨拶に始まり、歌の解説、小林美津子先生の指揮による合唱を披露していただいた後は、60名の観客の方々を交えて全員で合唱しました。



小林美津子先生の指揮による合唱風景



岩間満美子様

代表の楠山泰道住職





●コラム●衣笠地運協構成団体紹介その6

～衣笠商店街連合会～

衣笠商店街連合会は、「衣笠大通り商店街」と「衣笠仲通り商店街」の2つの連合商店街で、JR横須賀線の衣笠駅から徒歩0分、住宅地区に囲まれ、近隣には病院や学校もあり、平日は多くの人で賑わいます。加盟店舗は約150店舗、50年以上続く老舗も多く活気に満ちた雰囲気を楽しむことができます。全長約250mのアーケードがあるので雨も気にせず、美味しい飲食店や生鮮食料品から生活用品が揃い、大型量販店では味わえない買い物を楽しめます！

□■□主な活動内容□■□

- ★衣笠商店街ステーションパーキング事業 収容台数約110台
- ★衣笠ポイントカード事業 加盟店でのお買い物で付与、高齢者は来店で健康ポイント
- ★季節の装飾 夏の夕涼み会、秋のハロウィン、ガラボン抽選会、商店街ラジオ体操



衣笠商店街連合会の佐々木康晴会長と
中西真理副会長

★★佐々木会長の思い★★

- 1「評価の高さ」～遠方から訪れる人から衣笠はとても褒められます。地元の人にこそ街の魅力を再認識してもらいたい。
- 2「三浦一族ゆかりの地」～鎌倉から1%の観光客誘致を夢見ています。歴史と文化を活かした魅力ある商品・店を増やし、民泊、ビジネスホテルの誘致をしたい。
- 3「老朽化対策」「次世代への継承」～建物やアーケードの老朽化が進み、これに対する適切な対策が求められています。後継者不在から空き店舗→店舗売却→マンションや住居に代わる商店街の崩壊が散見されます。維持費のかかる設備・アーケード等が次世代への負債とならないための準備が必要です。

【高齢者を中心とした福祉に関する事業～冬の感染症講演会】

令和6年11月18日、衣笠病院グループの皆様のご協力を賜り「冬の感染症」講演会を開催しました。同病院感染制御担当師長の力竹小百合さんから、冬に多い感染症として、①インフルエンザ、②新型コロナウイルス、③風邪について、それぞれの症状や感染防止策について、わかりやすく説明していただきました。



力竹小百合さんによる講演風景

講演の中で紹介された「シャボンちゃんの手あらいうた」は北九州市に本社があるシャボン玉石けん株式会社さんが製作された動画で、子どもたちにもわかりやすく正しい手洗いの仕方を教えてくれるとても楽しい動画でした。



↑YouTubeで検索してみてください。

衣笠スカリン



本紙のご案内

地域住民が主体的に取組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容を、地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。

衣笠地運協

